

## 両石地区地権者会・復興促進協議会・復興まちづくり協議会 議事要旨

### 記

- 日時 平成 25 年 11 月 17 日（日）14 時 00 分～16 時 00 分
- 場所 沿岸広域振興局大会議室
- 次第
  1. 地権者会会長 あいさつ
    - ・ 会議進行にあたってのお願い・要望
  2. 釜石市長 野田武則あいさつ
  3. 前回の協議会（7 月 28 日開催）のふりかえり
  4. 最新の土地利用計画について
    - ・ 前回の協議会後にいただいた意見を紹介
      - ・ 避難路について
      - ・ JR 線路西側の生活道路の延伸について
      - ・ 第 3 地割の宅地化について
      - ・ 国道 45 号のかさ上げについて
      - ・ JR 鉄橋西側の盛土について
      - ・ 防潮堤のかさ上げについて
      - ・ あさひ公園の監視塔設置について
      - ・ 集合住宅建設位置について
  5. 住宅再建意向調査の中間集計結果について
    - ・ 現時点では、回収率が約 75%まで向上。引き続き回収を努力する。
    - ・ 両石地区では回収数 186、公営住宅希望者 72、自力再建希望者 114 件である。
    - ・ 1 年前の希望と比較すると 72 から 55 世帯へ減少。  
【内訳：集合タイプ 32、戸建タイプ 23】
    - ・ 今月中を目途に回収を進め、調査結果の精度を高めていくこととする。
  6. 地権者の会での意見交換結果の報告
    - ・ 防潮堤の高さに関する要望は、高さの変更不可とのこと。
    - ・ 海岸へ出る道路については、のちに検討する。
    - ・ 神社の移転については、工事業者の決定後に検討する。

## 7. 意見交換について

両石地区における復興事業は何か？

→ 防災集団移転促進事業、漁業集落防災機能強化事業の2つが該当します。

ガソリンスタンドの復旧と漁村センターの所に事務所が建てられていることについて説明して欲しい。

→ 漁村センターの所の事務所は把握していませんが、ガソリンスタンドについては、復興事業そのものに影響はなく、もし復興事業に影響が出る場合は、許可が下りません。今後、新たに建物を建てる際は、事前に市に連絡が入るのでそのつど対応していきます。

両石川は将来どのようなようになるか？

→ 全体的にかさ上げを行うため、宅地内は基本的に暗渠化<sup>あんきよ</sup>（道路の下に埋設）する予定です。

意向調査で両石に戻らないと書いたが復興の状況を見ながら、やはり戻りたいと思いついた場合は戻れるか。

→ 最終意向調査ということで実施していますが、調査は計画を立てるための目安として使っているものです。造成が終わり、公営住宅や分譲地の契約に至るまで、色々なことがあると思いますので、一人ひとりの確認を引き続き行っていく必要があると考えています。  
ぜひ釜石に戻ってきていただきたいと思います。

平成28年3月にはできるとの話であったが、いつ戻れるのか。住宅メーカーの予約状況からは、造成後にもさらに時間がかかる恐れがあり、待たなしの状態である。いつ帰れるか約束して欲しい。

→ 平成26、27年に造成工事を実施し、平成28年度以降に住宅等の整備を予定しています。工事規模が大きいので工事期間を2年と設定していますが、短縮できるところはないか、工程等詰めて工期短縮に努めます。

第3地割の方へ宅地ができるならば、谷筋の11世帯が入る宅地をなるべくなら日当たりの良い場所に移すことを考えられないか。

→ 住宅再建意向調査の結果を基に宅地の割付けを行った後、公共施設の立地を含めて検討していきます。

今回の復興まちづくり協議会では、早期実現に向けての取り組み状況が十分に見えない。国土交通省を含めてどのような検討状況にあるのか。また、用地買収交渉に入るといつから時間が経過しているが、その過程における報告がない。

- 要望を受けて見直した国道は、市の計画に合わせて線形や高さを変更していただきました。土地利用の確定後、用地交渉を行っていきます。  
また、国道のかさ上げに伴う工事の施工展開として、仮設道路を北側に造る計画と伺っています。

12月中に着工式をやりたいとのことであったが、目に見えるものが出てくることに期待している。11月末に意向調査結果を締切りたいとの話だが、もうすぐ12月なのにまだ目に見えるものがなく、いくら説明されても不安である。

- 下準備をしっかり進め、早々に詳細設計や用地買収に入れるように進めています。